

草津市健幸都市基本計画に関連する 平成29年度当初予算主要事業一覧

まちの健幸づくり

| | |
|-------------------|---|
| 立地適正化計画・地域再生計画策定費 | 1 |
| 地域公共交通活性化推進費 | 2 |
| 第2次緑の基本計画見直し検討費 | 3 |
| (仮称)市民総合交流センター整備費 | 4 |
| 空き家対策費 | 5 |
| 草津川跡地整備費・公園運営費 | 6 |
| 野村公園整備費 | 7 |

ひとの健幸づくり

| | |
|-----------------------|----|
| がんばる地域応援交付金 | 8 |
| 介護予防・日常生活支援総合事業費 | 9 |
| 生活支援体制整備事業費 | 10 |
| 健幸都市づくり推進費 | 11 |
| 国民健康保険特定健康診査受診率向上対策費 | 12 |
| 「くさつ健幸ウオーク2017」開催費補助金 | 13 |
| 中学校給食センター整備費 | 14 |
| (仮称)文化振興条例・計画策定費 | 15 |

しごとの健幸づくり

| | |
|------------------|----|
| 草津版ヘルスツーリズム調査検討費 | 16 |
| ビワイチ観光推進事業費 | 17 |
| アーバンデザインセンター運営費 | 18 |

※平成29年度草津市当初予算概要から抜粋

「心地よさ」が感じられるまちへ

(単位:千円)

| | | | | | |
|-------|-------------------|------|----|-------|-------|
| 事業名 | 立地適正化計画・地域再生計画策定費 | | | 区分 | 拡大 |
| 事業費 | 担当部局・所属 都市計画部 | | | 都市計画課 | |
| | 財源内訳 | | | | |
| | 国庫支出金 | 県支出金 | 市債 | その他 | 一般財源 |
| 7,194 | 394 | | | | 6,800 |

＜事業の概要＞

・立地適正化計画の策定

人口増加が続く本市でも、少子化、高齢化が進む中、当面の人口増も平成52年(2040年)には人口減少局面に転じると予測されています。将来を見据え、日常生活が充足できる居住環境や、都市機能を確認できるコンパクトな都市構造を維持するための対策として、都市機能や居住の誘導を目的とした立地適正化計画の策定に取り組みます。

・地域再生計画の策定

市街化調整区域の一部の集落では、すでに人口減少や高齢化が進行し、農業や漁業の後継者不足も課題となるなど、地域コミュニティを維持するための対策が必要となっています。

この市街化調整区域の対策として、中心部と地域を結ぶ公共交通ネットワークの充実、地域の特性、地域資源を最大限活かした地場産業の育成や観光資源の発掘等による持続可能なまちづくりを進め、市域全体が活気と活力にあふれた均衡ある発展を実現するため、地域再生計画の策定に取り組みます。

【主な内容】

立地適正化計画策定支援業務
地域再生計画策定支援業務

※健幸都市基本計画関連事業

＜事業の目的・効果＞

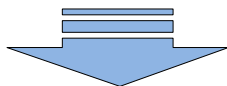
・立地適正化計画の策定

コンパクトな都市構造を維持するため、より安心して暮らせる居住環境の確保や充実した都市機能の誘導を図ります。

・地域再生計画の策定

地域の特色、特性を活かした活気と活力のある持続可能なまちづくりを目指します。

コンパクトな街づくり・地域の再生



地域再生計画（地域振興施策の構築）

立地適正化計画（区域指定による誘導）

居住誘導区域（市街化区域内）

⇒居住の誘導、日常生活サービスの充足

都市機能誘導区域（JR草津駅、JR南草津駅）

⇒都市機能の集約

主な経費

| | |
|---------------|-------|
| 立地適正化計画策定支援業務 | 789 |
| 地域再生計画策定支援業務 | 6,405 |

「心地よさ」が感じられるまちへ

(単位:千円)

| 事業名 | 地域公共交通活性化推進費 | | | 区分 | 拡大 |
|-------|---------------|------|----|-------|-------|
| 事業費 | 担当部局・所属 都市計画部 | | | 交通政策課 | |
| | 財源内訳 | | | | |
| | 国庫支出金 | 県支出金 | 市債 | その他 | 一般財源 |
| 6,050 | | | | | 6,050 |

<事業の概要>

国が掲げる「コンパクト＋ネットワーク」の考え方に基づくまちづくりを行うため、市民(地域)・事業者・行政の三者による協働、連携強化を図り、地域の特性に応じた、また将来を見据えた公共交通ネットワークの再編を推進するため、草津市地域公共交通網形成計画を策定します。

また、大津湖南エリア内において、地域の特性に応じた広域的な公共交通ネットワークの整備を検討するため、滋賀県や大津市、地域などとも連携して、社会実験を実施します。

※健幸都市基本計画関連事業

<事業の目的・効果>

誰もがいつでも安心して公共交通機関を利用できるよう、まめバス、民間路線バス、鉄道など公共交通網に関する総合的な計画を策定することにより、持続可能な公共交通ネットワークを構築し、地域活力の維持・活性化を図ります。

また、地域の意見を踏まえた公共交通の広域的なアクセス向上に向けた社会実験を行うことにより、市民の公共交通に対する意識変革の契機につなげます。



主な経費

| | |
|------------------|-------|
| 公共交通網形成計画策定業務補助金 | 4,800 |
| 社会実験事業費負担金 | 1,250 |

「心地よさ」が感じられるまちへ

(単位:千円)

| | | | | | |
|-------|-----------------|------|----|-------|-------|
| 事業名 | 第2次緑の基本計画見直し検討費 | | | 区分 | 新規 |
| 事業費 | 担当部局・所属 建設部 | | | 公園緑地課 | |
| | 財源内訳 | | | | |
| | 国庫支出金 | 県支出金 | 市債 | その他 | 一般財源 |
| 5,921 | | | | | 5,921 |

＜事業の概要＞

本市では都市緑地法に基づく緑地の適正な保全および緑化の推進に関する基本計画として、平成32年度までを計画期間とする「第2次草津市緑の基本計画」を策定しています。

平成29年度は、「第5次草津市総合計画第3期基本計画」や『ずっと草津宣言』ロードマップ』に位置づけられたガーデンシティの推進について、その実現に向けた具体的な施策展開を「第2次草津市緑の基本計画」に位置づけることを検討するとともに、やすらぎと憩いが得られる環境の充実に取り組めます。

【主な内容】

- ・ガーデンシティの実現に向けた諸条件の整理
- ・「草津市緑の基本計画策定委員会」の設置、委員会開催(年4回)
- ・ガーデンシティの実現に向けた課題整理、具体的施策の検討

※健幸都市基本計画関連事業

＜事業の目的・効果＞

公共空間での市民協働によるガーデニング等の取組を進める「ガーデンシティくさつ」を実現することで、まちの心地よさ、魅力の向上を図ります。

公共空間のガーデニング実施事例



南草津駅前東山道記念公園
グラッシーガーデン「陽だまり」

主な経費

| | |
|----------------|-------|
| 緑の基本計画策定委員会運営費 | 921 |
| 緑の基本計画見直し支援業務 | 5,000 |

総合計画リーディング・プロジェクト(“まちなか”を活かした魅力向上)
「心地よさ」が感じられるまちへ

(単位:千円)

| 事業名 | (仮称)市民総合交流センター整備費 | | | 区分 | 拡大 |
|---------|-------------------|------|----------|-----------|--------|
| 事業費 | 担当部局・所属 | | まちづくり協働部 | 拠点施設整備室 | |
| | 財源内訳 | | | | |
| | 国庫支出金 | 県支出金 | 市債 | その他 | 一般財源 |
| 915,310 | | | 733,800 | 繰 153,000 | 28,510 |

<事業の概要>

中心市街地活性化の拠点施設である(仮称)市民総合交流センターの整備については、定期借地権方式による民間活力を活用し、市の財政負担の軽減を図りながら、従来から計画している、既存公共施設の集約や、子育て支援・市民交流のための機能等に加えて、民間事業者からの提案に基づく新たな機能を付加した、官民の複合施設として整備することを計画しています。

平成29年度は事業用地の取得を行い、施設整備を行う事業者の募集・選定を行います。

【事業年度計画】

平成29年度 用地取得、事業者募集・選定

平成29年度～平成31年度 事業者による設計・工事

【敷地概要】

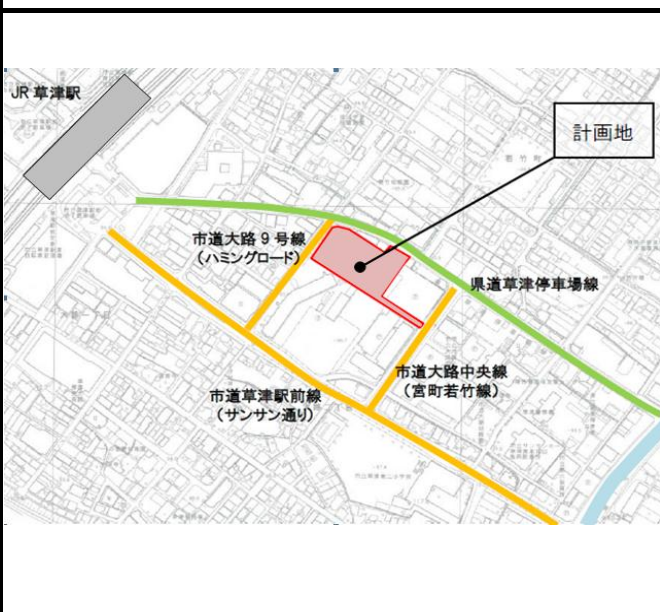
敷地面積 約6,500㎡

所在地 草津市大路二丁目

※健幸都市基本計画関連事業

<事業の目的・効果>

老朽化が著しい既存公共施設等(草津合同ビル、草津市立まちづくりセンター、草津市立人権センター、草津市社会福祉協議会)を集積し、多くの市民が利用しやすい官民複合施設として整備します。子育て支援のための空間、市民交流のための空間等を整備し、にぎわいと交流の促進を図ります。



| 主な経費 | |
|---------------|---------|
| 用地取得費 | 887,192 |
| 民間事業者選定委員会運営費 | 160 |

「心地よさ」が感じられるまちへ

(単位:千円)

| 事業名 | 空き家対策費 | | | 区分 | 拡大 |
|-------|---------|-------|----|-----|-------|
| 事業費 | 担当部局・所属 | 都市計画部 | | 建築課 | |
| | 財源内訳 | | | | |
| | 国庫支出金 | 県支出金 | 市債 | その他 | 一般財源 |
| 5,751 | | | | | 5,751 |

＜事業の概要＞

平成27年に施行された「空家等対策の推進に関する特別措置法」を受け、本市の空き家の実態調査等を踏まえた「草津市空き家等対策計画」に基づき、空き家の活用を検討するとともに、空き家の適切な管理を推進します。

【主な内容】

- ・空き家活用検討支援業務
- ・空き家の適切な管理の推進
- ・空き家の相続に関するセミナー開催

※健幸都市基本計画関連事業

＜事業の目的・効果＞

空き家の活用を検討するとともに、空き家所有者への啓発・指導および相続に関するセミナーを開催することで、空き家の活用促進や適切な管理を推進します。



主な経費

| | |
|-------------|-------|
| 空き家活用検討支援業務 | 2,997 |
| 事業啓発・指導費 | 381 |
| セミナー開催費 | 57 |

総合計画リーディング・プロジェクト(“まちなか”を活かした魅力向上)

(単位:千円)

| 事業名 | 草津川跡地整備費・公園運営費 | | | 区分 | 新規 |
|---------|----------------|-------|-------|--|---------|
| 事業費 | 担当部局・所属 | 都市計画部 | | 草津川跡地整備課 | |
| | 財源内訳 | | | | |
| | 国庫支出金 | 県支出金 | 市債 | その他 | 一般財源 |
| 208,123 | | | 5,000 | 使 繰 諸 27,448 20,000 7,928 | 147,747 |

＜事業の概要＞

草津川跡地整備事業は、草津川跡地全域を一つの「緑軸」として捉え、魅力あふれる空間づくりを進め、多様な市民活動の場として、“にぎわい”と“うるおい”を創出する空間づくりに取り組み、また、災害時には防災空間となるよう整備を進めており、優先整備区間である草津川跡地(区間2)および草津川跡地(区間5)が、都市公園として平成29年4月に開園します。

草津川跡地公園(区間2)(a i 彩ひろば)および草津川跡地公園(区間5)(d e 愛ひろば)については、指定管理者制度による管理・運営を行います。

また、国道1号平面化部から草津川跡地(区間6)については、栗東市域にまたがる区域があることから、土地の利活用等について、栗東市とともに検討を行いながら、基本設計を行います。

【事業区間】

区間2:メロン街道～浜街道

区間4:大津湖南幹線～JR琵琶湖線

区間5:JR琵琶湖線～市道大路16号線

国道1号平面化部、区間6:市道大路16号線～JR東海道新幹線

【各区間の事業内容】

区間2: a i 彩ひろばとして、指定管理者による管理を行います。

区間4: d e 愛ひろばの仮駐車場を整備します。

区間5: d e 愛ひろばとして、指定管理者による管理を行います。

国道1号平面化部、区間6:栗東市とともに基本設計を行います。

※健幸都市基本計画関連事業

＜事業の目的・効果＞

草津川跡地全体を質の高い緑空間として整備を進め、平成29年4月に開園する a i 彩ひろばおよび d e 愛ひろばについては、指定管理者により、適切に管理・運営を行い、“にぎわい”と“うるおい”のある空間を創出します。

また、草津川跡地(国道1号平面化部、区間6)については、整備着手に向け、土地の利活用等について、栗東市とともに検討を行いながら、基本設計を行います。



草津川跡地公園(区間5)(d e 愛ひろば)
完成イメージ

主な経費

| | |
|---------------|---------|
| 草津川跡地整備費 | |
| ・草津川跡地(区間4) | |
| JR構造物解析業務 | 17,313 |
| 仮駐車場整備工事 | 13,932 |
| ・草津川跡地(区間6) | |
| 基本設計業務 | 26,072 |
| 草津川跡地公園運営費 | |
| ・草津川跡地公園指定管理料 | 106,802 |
| ・草津川跡地(区間4) | |
| 仮駐車場用地使用料 | 11,182 |

スポーツ健康づくりの推進

総合計画リーディング・プロジェクト(“まちなか”を活かした魅力向上)

(単位:千円)

| 事業名 | 野村公園整備費 | | | 区分 | 拡大 |
|-----------|---------|------|-----------|---------------|--------|
| 事業費 | 担当部局・所属 | | | 公園緑地課、スポーツ保健課 | |
| | 財源内訳 | | | | |
| | 国庫支出金 | 県支出金 | 市債 | その他 | 一般財源 |
| 2,306,524 | 997,243 | | 1,096,900 | 繰 121,000 | 91,381 |

<事業の概要>

スポーツの活動拠点である市民体育館の老朽化による建替えと中心市街地におけるにぎわい拠点の整備を進めるため、野村公園新体育館の建設工事を2か年で進めます。また、野村公園新体育館の整備に伴い閉鎖する野村運動公園テニスコートの代替施設を暫定的に三ツ池運動公園の隣接地に整備します。

○野村公園体育館整備

【整備内容】

場所:野村三丁目

最終公園整備面積:約7.4ha (第一期事業:約1.9ha)

施設概要:体育館(建築面積約7,000㎡)、メインアリーナ(約2,000㎡)、サブアリーナ(約830㎡)

観客数約3,500人

【事業年度計画】

平成29年度～平成30年度 体育館建設工事

平成31年度 体育館供用開始

○三ツ池テニスコート暫定整備

【整備内容】

場所:西矢倉一丁目

整備面積:テニスコート 約2,800㎡、駐車場 約2,850㎡

施設概要:テニスコート4面(クレー)、照明設備、排水設備、防球フェンス、駐車場

供用開始:平成29年9月頃

※健幸都市基本計画関連事業

<事業の目的・効果>

- ・野村運動公園の施設を更新し、スポーツ施設の充実を図ります。
- ・スポーツのほかに各種イベントが実施可能な体育館として中心市街地を活性化するにぎわいを創出します。
- ・中心市街地に不足する緑地と、防災拠点など多機能を有するオープンスペースを確保します。
- ・野村運動公園テニスコート閉鎖期間中の利用者の利便性を確保します。

| | | 主な経費 |
|---|-----------------|-----------|
| <div data-bbox="154 1675 459 1711" data-label="Section-Header"> <h4>野村公園整備第1期事業</h4> </div> <div data-bbox="137 1713 798 2042" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="316 2045 617 2078" data-label="Caption"> <p>野村公園体育館イメージ図</p> </div> | 体育館建設工事 | 2,204,478 |
| | 体育館建設工事監理業務 | 11,619 |
| | 三ツ池テニスコート暫定整備工事 | 89,824 |
| | (債務負担行為) | |
| | 平成30年度 | |
| | 体育館建設工事 | 2,988,200 |
| 体育館建設工事監理業務 | 15,200 | |

総合計画リーディング・プロジェクト(コミュニティ活動の推進)

(単位:千円)

| 事業名 | がんばる地域応援交付金 | | | 区分 | 拡大 |
|--------|-------------|----------|----|----------|--------|
| 事業費 | 担当部局・所属 | まちづくり協働部 | | まちづくり協働課 | |
| | 財源内訳 | | | | |
| | 国庫支出金 | 県支出金 | 市債 | その他 | 一般財源 |
| 14,000 | | | | | 14,000 |

<事業の概要>

草津市協働のまちづくり条例に基づき、自分たちのまちは自分たちでつくるという考えのもと、地域の魅力を地域の皆さんで見つけ出すことや、後世に伝えることで、目指すべき地域の将来像を実現するとともに、地域のコミュニティ振興に資する取組や魅力向上のための取組に対して支援を行います。

【交付額】

1学区あたり4年間(平成28年度～平成31年度)で総額3,000千円
平成29年度の1学区あたりの交付上限額は1,500千円

【対象事業】

まちづくり協議会から提案いただき、地域の魅力を高めるための事業

※健幸都市基本計画関連事業

<事業の目的・効果>

「がんばる地域応援交付金」は、住民主体でさらなる魅力あるまちづくりをしていただくために、各まちづくり協議会へ交付するものです。

本市では、各地域によって魅力や特色、地域課題が様々なことから、これまでの市から事業の内容を提示する交付金制度ではなく、各地域の実情に応じた取組を各地域から提案いただき、交付する提案型の交付金制度とすることで、まちづくりに対する意欲を高め、連帯意識の醸成を図ります。

| <p>3. 交付</p> <p>2. 審査</p> <p>1. 提案</p> | 主な経費 | |
|--|-------------|--------|
| | がんばる地域応援交付金 | 14,000 |

高齢者福祉の充実

(単位:千円)

| 事業名 | 介護予防・日常生活支援総合事業費 | | | 区分 | 新規 |
|---------|------------------|--------|------------------|-----------------------------------|------|
| 事業費 | 担当部局・所属 | 健康福祉部 | | 長寿いきがい課 | |
| | 財源内訳 | | | | |
| | 国庫支出金 | 県支出金 | 市債 | その他 | 一般財源 |
| 124,112 | 26,307 | 15,497 | 使 繰 保 介 | 138 17,121 30,336 34,713 | 0 |

<事業の概要>

介護保険制度の改正により、4月から「介護予防・日常生活支援総合事業(総合事業)」を開始します。

要支援1・2の人へのサービスの一部を総合事業に移行し、従来の介護サービス事業者のほか、NPO法人や民間企業などによる多様なサービスを展開し、介護予防事業の充実を図ります。

【主な内容】

| 種類 | | 内容 | 対象 |
|---|-------------|--|---|
| 介護 予防 ・ 生活 支援 サ ー ビ ス | 訪問型サービス | 介護予防型訪問サービス 生活支援型訪問サービス【新規】 生活サポート事業【新規】 短期集中予防サービス【新規】 | ・要支援1 ・要支援2 ・基本チェックリストで総合事業の対象と判断された人 |
| | 通所型サービス | 介護予防型デイサービス 活動型デイサービス【新規】 短期集中予防サービス【新規】 | |
| | その他生活支援サービス | 配食サービス | |
| | 一般介護予防事業 | 高齢者が支援を必要とするような心身状態に陥らないよう、自ら介護予防に取り組んでいたための事業(いきいき百歳体操、明るく楽しく脳活教室、転倒予防体操、地域サロンなど) | |

※健幸都市基本計画関連事業

<事業の目的・効果>

少子高齢化により今後増大するニーズに対し、専門職に限らず多様な主体による多様なサービスを展開することで、地域での支え合いの体制づくりと持続可能な介護サービスの仕組みを構築するとともに、「参加」「活動」に重点を置いた介護予防を推進することで、高齢者が地域や社会の中で役割を持ちながら、いきいきとした生活を継続できる環境づくりを目指します。

| 総合事業への移行イメージ | 主な経費 |
|--|---|
| <p>総合事業への移行イメージ</p> <p>《現行》</p> <ul style="list-style-type: none"> 介護給付(要介護1~5) 介護予防給付(要支援1・2) 介護予防事業 <p>《4月から》</p> <ul style="list-style-type: none"> 介護給付(要介護1~5) 介護予防給付(要支援1・2) 総合事業 <ul style="list-style-type: none"> ○介護予防・生活支援サービス事業 ・訪問型サービス ・通所型サービス ・その他生活支援サービス ○一般介護予防事業 <p>変更なし</p> | <p>訪問型サービス費 15,540</p> <p>通所型サービス費 58,891</p> <p>その他生活支援サービス費 307</p> <p>介護予防ケアマネジメント事業費 21,458</p> <p>審査支払手数料 459</p> <p>高額介護予防サービス費相当事業費 99</p> <p>高額医療合算介護予防サービス費相当事業費 231</p> <p>一般介護予防事業費 27,127</p> |

高齢者福祉の充実

(単位: 千円)

| 事業名 | 生活支援体制整備事業費 | | | 区分 | 拡大 |
|--------|-------------|-------|----|-------------------|------|
| 事業費 | 担当部局・所属 | 健康福祉部 | | 長寿いきがい課 | |
| | 財源内訳 | | | | |
| | 国庫支出金 | 県支出金 | 市債 | その他 | 一般財源 |
| 20,097 | 7,838 | 3,919 | | 繰保 4,144 4,196 | 0 |

<事業の概要>

4月からの介護予防・日常生活支援総合事業(総合事業)の開始に合わせて、生活支援コーディネーターを配置し、高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、地域における見守り活動や日常生活上の支え合い活動の促進等を図るとともに、高齢者の支援の担い手としての活動を促すなど社会参加の取組を進めることとし、これらを一体的に推進します。

【主な内容】

○生活支援コーディネーターの配置

<生活支援コーディネーターの役割>

- ①地域ネットワークの構築…地縁組織等の多様な関係主体間の情報共有・連携など
- ②地域資源の開発…支え合い活動の創出、活動者の養成など
- ③支援ニーズとのマッチング…地域の支援ニーズと支援活動のマッチングなど

○協議体の設置・運営

小学校区を活動エリアとした支え合い活動などの定期的な情報の共有・連携強化の場

○実施方法

草津市社会福祉協議会への事業委託

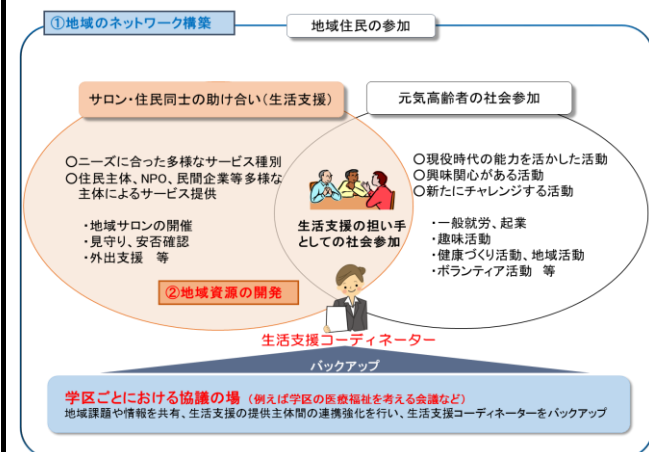
※健幸都市基本計画関連事業

<事業の目的・効果>

住民同士の支え合い(生活支援)活動の促進等を図ることで、独居高齢者や高齢者のみの世帯の人も安心して暮らせる地域づくりを進めるとともに、高齢者の社会参加や生きがいづくり等を推進します。

主な経費

| | |
|-----------------|--------|
| 生活支援体制整備事業委託費 | 19,907 |
| 生活支援サポーター養成講座など | 190 |



総合計画リーディング・プロジェクト(「健幸都市」づくりの推進)

(単位:千円)

| 事業名 | 健幸都市づくり推進費 | | | 区分 | 拡大 |
|--------|------------|------------|----|--------------|-------|
| 事業費 | 担当部局・所属 | 健康福祉部・関係各部 | | 健康福祉政策課・関係各課 | |
| | 財源内訳 | | | | |
| | 国庫支出金 | 県支出金 | 市債 | その他 | 一般財源 |
| 12,279 | 5,701 | 265 | | | 6,313 |

＜事業の概要＞

市民が生きがいをもち、住む人も訪れる人も健やかで幸せになれる「健幸都市くさつ」の実現を目指す「草津市健幸都市基本計画」に基づき、行政や市民、地域、大学、企業・団体等、あらゆる主体が連携し、市の総合政策として健幸都市づくりを進めます。

【主な内容】

- ・草津川跡地公園健幸イベントの開催【新規】
- ・飲食店と連携した健康づくり・食物残さ対策の推進(3010運動)【新規】
- ・健康のまち草津モデル事業費補助金【拡大】
- ・高齢者の社会参加・生涯活躍社会の構築に向けた検討【新規】
- ・たばこ対策の推進【拡大】
- ・健幸都市シンポジウムの開催

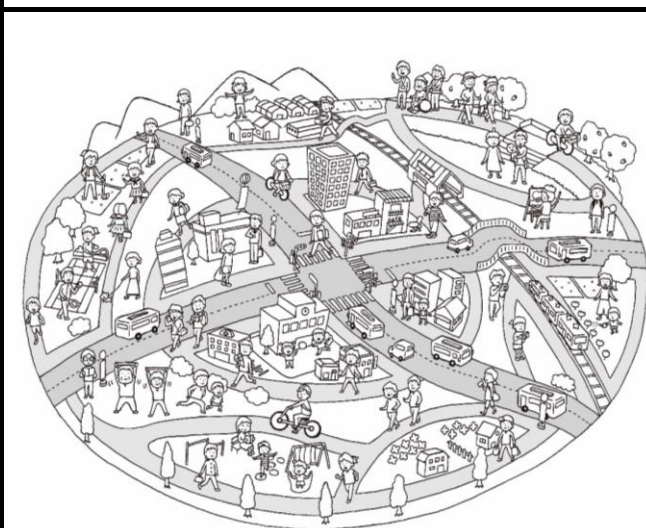


※草津市健幸都市基本計画に基づく取組は、都市計画や産業振興など幅広い分野で行います。他の項目で計画に関連する事業については、健幸都市基本計画関連事業として記載しています。

＜事業の目的・効果＞

急速な高齢化が進む中で、認知症や寝たきりなど介護を必要とする人が増え、生活習慣病の増加に伴い医療費も増加するなど、介護予防や疾病予防の強化が必要となっています。

高齢化や人口減少が進んでも持続可能な社会となるよう、従来からの健康福祉施策だけでなく、ハード・ソフト両面からの施策展開や社会的なつながりの強化、産学公民の連携などにより、市全体で健幸都市づくりを進めます。



＜健幸都市のイメージ＞

主な経費

| | |
|------------------|-------|
| 草津川跡地公園健幸イベント開催費 | 1,064 |
| 3010運動推進費 | 1,034 |
| 健康のまち草津モデル事業費補助金 | 9,000 |
| 生涯活躍社会構築検討費 | 449 |
| たばこ対策推進費 | 256 |
| シンポジウム開催他啓発費 | 476 |

「安心」が得られるまちへ

(単位:千円)

| 事業名 | 国民健康保険特定健康診査受診率向上対策費 | | | 区分 | 拡大 |
|--------|----------------------|------|-------|-------|-------|
| 事業費 | 担当部局・所属 | | 健康福祉部 | 保険年金課 | |
| | 財源内訳 | | | | |
| | 国庫支出金 | 県支出金 | 市債 | その他 | 一般財源 |
| 10,935 | 8,994 | 844 | | | 1,097 |

＜事業の概要＞

・第3期特定健康診査等実施計画および第2期データヘルス計画の策定

本市の医療費や健診データの分析を行い、健康課題への取組や特定健診の受診率向上対策などを検討し、平成30年度から平成35年度までを計画期間とする第3期特定健康診査等実施計画および第2期データヘルス計画を策定します。

・協会けんぽ連携事業

協会けんぽ滋賀支部との事業連携協定に基づき、特定健康診査を共同実施し、被保険者の受診機会の拡大を図るとともに、受診率の向上を目指します。

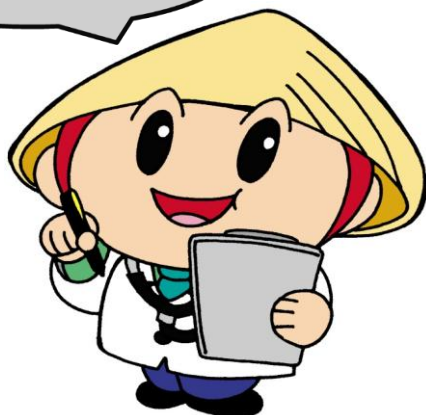
※健幸都市基本計画関連事業

＜事業の目的・効果＞

・第3期特定健康診査等実施計画および第2期データヘルス計画を策定し、医療費の適正化を推進します。

・協会けんぽとの連携事業により、被保険者への受診機会の枠が広がり、受診しやすい環境を整えます。

健診に行こう！



主な経費

| | |
|----------------------------------|-------|
| 第3期特定健康診査等実施計画・第2期データヘルス計画策定支援業務 | 8,694 |
| 特定健康診査等実施計画策定委員会開催費 | 348 |
| 特定健康診査集団健診委託費 | 1,393 |
| 協会けんぽ連携事業費 | 500 |

スポーツ健康づくりの推進

総合計画リーディング・プロジェクト(「健幸都市」づくりの推進)

(単位:千円)

| | | | | | |
|-------|-----------------------|------|----|---------|-------|
| 事業名 | 「くさつ健幸ウオーク2017」開催費補助金 | | | 区分 | 新規 |
| 事業費 | 担当部局・所属 教育委員会 | | | スポーツ保健課 | |
| | 財源内訳 | | | | |
| | 国庫支出金 | 県支出金 | 市債 | その他 | 一般財源 |
| 3,450 | 1,725 | | | | 1,725 |

<事業の概要>

ウオーキングは、誰もが気軽に始められるスポーツとして、多くの方が親しみ、楽しんでいます。近年では高齢者をはじめ、体力に自信のない人でも始められるスポーツとして、専用ポールを使用するノルディックウオークが人気となっています。こうした中、ウオーキングを通じたスポーツ健康づくりを推進するため、市内をステージにした健幸イベント「くさつ健幸ウオーク2017」を開催します。

【主な内容】

- ・開催時期 10月下旬(予定)
- ・発着会場 草津川跡地公園(de愛ひろば:区間5) イベント広場
- ・部 門 ウオーキング、ノルディックウオーク

※健幸都市基本計画関連事業

<事業の目的・効果>

市内をステージに健幸ウオークを開催することにより、住む人も訪れる人も「健幸」になれるまちを目指し、誰もが気軽にスポーツに親しみ、楽しむ機会の充実を図ります。

| | | | |
|---|--|----------------|-------|
| ウオーキングイベントイメージ | | 主な経費 | |
|  | | ウオーキング大会開催費補助金 | 3,450 |

教育の充実

(単位:千円)

| | | | | | |
|---------|--------------|-------|---------|----------|-------|
| 事業名 | 中学校給食センター整備費 | | | 区分 | 新規 |
| 事業費 | 担当部局・所属 | 教育委員会 | | スポーツ保健課 | |
| | 財源内訳 | | | | |
| | 国庫支出金 | 県支出金 | 市債 | その他 | 一般財源 |
| 237,516 | | | 197,000 | 繰 39,000 | 1,516 |

<事業の概要>

中学校給食の実施に向け、「草津市中学校給食実施基本計画」に基づき、平成32年度から給食センター方式による中学校給食の提供を開始するための取組を進めます。

【給食センター施設概要】

調理能力:約4,500食/日、延床面積:約2,500㎡

【スケジュール(予定)】

平成29年度

給食センター用地取得・測量、用地造成設計業務、建築基本設計業務、中学校配膳室実施設計業務

平成30年度

給食センター用地造成工事、建築実施設計業務、給食センター建設工事、中学校配膳室建設工事

平成31年度

給食センター建設工事、中学校配膳室建設工事、中学校給食提供開始準備

平成32年度

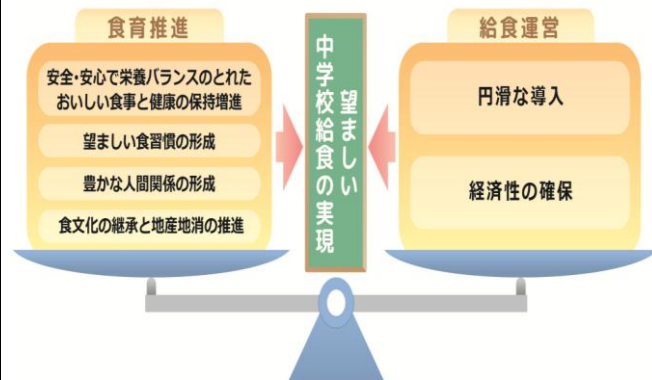
中学校給食の実施

※健幸都市基本計画関連事業

<事業の目的・効果>

草津市中学校給食実施基本計画に基づき、給食センターの建設に向けて、用地の取得・測量、建築基本設計業務等を行うことにより、中学校給食の実現に向けた取組を着実に進めていきます。

【中学校給食の実施に向けた基本的な考え方】



主な経費

| | |
|--------------|---------|
| 用地取得・測量等 | 182,830 |
| 用地造成設計業務 | 6,156 |
| 建築基本設計業務 | 12,073 |
| 中学校配膳室実施設計業務 | 36,000 |

「人」が輝くまちへ

(単位:千円)

| 事業名 | (仮称)文化振興条例・計画策定費 | | | 区分 | 拡大 |
|-------|------------------|------|----|-------|-------|
| 事業費 | 担当部局・所属 教育委員会 | | | 生涯学習課 | |
| | 財源内訳 | | | | |
| | 国庫支出金 | 県支出金 | 市債 | その他 | 一般財源 |
| 1,582 | | | | | 1,582 |

<事業の概要>

本市では、市民や各種団体の文化意識の高揚を図り、計画的かつ戦略的に事業を推進するため、平成28年度から平成29年度にかけて、文化振興の基本理念や基本施策等を明文化した(仮称)草津市文化振興条例の制定および文化振興計画の策定に取り組んでいます。

平成29年度は、学識経験者や文化団体、教育関係者、公募委員等で構成する草津市文化振興審議会からの提言を踏まえ、条例の制定と、同条例に基づく実行計画の策定を進めます。

【スケジュール(予定)】

条例施行 平成29年7月

計画策定 平成30年3月

※健幸都市基本計画関連事業

<事業の目的・効果>

本市の文化振興の理念や基本的な方向性を条例で明文化し、市民と共有するとともに、実行計画を策定することで、具体的な施策を総合的かつ計画的に推進します。

主な経費

| | |
|----------|-----|
| 審議会運営費 | 629 |
| 計画策定支援業務 | 953 |



総合計画リーディング・プロジェクト(「健幸都市」づくりの推進)

(単位:千円)

| 事業名 | 草津版ヘルスツーリズム調査検討費 | | | 区分 | 新規 |
|--------|------------------|------|----|-------|-------|
| 事業費 | 担当部局・所属 総合政策部 | | | 企画調整課 | |
| | 財源内訳 | | | | |
| | 国庫支出金 | 県支出金 | 市債 | その他 | 一般財源 |
| 10,010 | 4,958 | | | | 5,052 |

<事業の概要>

草津市健幸都市基本計画に基づく「しごとの健幸づくり」の重点的な取組として、「健幸」を意識しながら、本市の多様な地域資源の掘り起こしや、ノルディックウオーク^{*}、草津川跡地の活用など多様なメニューを含むヘルスツーリズム^{*}を企画し、実証実験としてのモニターツアーを実施します。

【主な内容】

- ・魅力的な地域資源(素材)の調査・選定
- ・関係者によるワークショップ実施
- ・実証実験としてのモニターツアー実施
- ・参加者等へのアンケート実施
- ・ツアー構築に必要となる基礎的な情報のまとめ、モデルコースの設定

※ノルディックウオーク:専用のポールを使用するウォーキングで、全身を使うエクササイズになる。

※ヘルスツーリズム:旅行という非日常的な楽しみの中で、健康回復や健康増進を図るもの。

※健幸都市基本計画関連事業

<事業の目的・効果>

モニターツアー等の実証実験の結果を踏まえ、課題を洗い出すとともに、より効果的なツアーを構築することで、市民の健康増進や観光振興等の取組につなげ、交流人口の増加や草津を訪れれば「健幸」が享受できる都市としての魅力向上を図ります。

| 地域資源の掘り起こし | | 主な経費 | |
|------------|---------------------------|-------------------|-------|
| | | 草津版ヘルスツーリズム調査検討業務 | 9,916 |
| | ワークショップ実施 | | |
| | モニターツアー実施 | | |
| | 参加者へのアンケート調査 | | |
| | 「健幸づくりツアー」モデルコース・プログラムの策定 | | |



「活気」があふれるまちへ

(単位:千円)

| | | | | | |
|-------|---------------|------|----|---------|-------|
| 事業名 | ビワイチ観光推進事業費 | | | 区分 | 新規 |
| 事業費 | 担当部局・所属 環境経済部 | | | 商工観光労政課 | |
| | 財源内訳 | | | | |
| | 国庫支出金 | 県支出金 | 市債 | その他 | 一般財源 |
| 7,000 | 3,500 | | | | 3,500 |

<事業の概要>

滋賀県では、自転車によるびわ湖一周「ビワイチ」をはじめ、県内各地を気軽に自転車で巡れるよう、安全に自転車を利用できる環境整備や観光資源の魅力向上、情報発信などを図ることによって、交流人口や宿泊客数の増加、地域経済の活性化を目指した取組を進めています。

本市でも、「ビワイチ」によるサイクリストの受入環境の整備をはじめ、湖岸から「まちなか」への誘客による活性化や、自転車を利用しやすい環境づくり、自転車を利用した健康づくりにも寄与する事業を展開します。

【主な内容】

- ・行政関係集客施設でのサイクリスト受入環境整備
- ・宿泊施設でのサイクリスト受入環境整備の支援
- ・サイクリストを誘客するイベント実施・開催の支援
- ・サイクリストの受入環境やサイクリングルートを表示した観光マップの作成

※健幸都市基本計画関連事業

<事業の目的・効果>

滋賀県を中心として、大津市、草津市、守山市、高島市、東近江市、米原市が連携し、国の地方創生推進交付金を活用しながら、琵琶湖を自転車で一周する「ビワイチ」を中心に、自転車で安心してまちなかへの回遊ができる環境整備に努めるとともに、観光誘客事業の一助とします。



主な経費

| | |
|-------------------------|-------|
| 行政関係集客施設でのサイクリスト受入環境整備費 | 500 |
| 宿泊施設でのサイクリスト受入環境整備費 | 1,000 |
| ビワイチ関連イベント実施・開催費 | 3,500 |
| サイクリングマップ作成費 | 2,000 |

「活気」があふれるまちへ

(単位:千円)

| 事業名 | アーバンデザインセンター運営費 | | | 区分 | 拡大 |
|--------|-----------------|-------|----|---------|--------|
| 事業費 | 担当部局・所属 | 総合政策部 | | 草津未来研究所 | |
| | 財源内訳 | | | | |
| | 国庫支出金 | 県支出金 | 市債 | その他 | 一般財源 |
| 50,533 | 1,208 | | | | 49,325 |

＜事業の概要＞

平成28年10月にフェリエ南草津5階の市民交流プラザ内に開設したアーバンデザインセンターびわこ・くさつ(UDCBK)は、市民が気軽に立ち寄り、草津の未来について、自由に語り合える草津の未来の選択肢を増やすための居心地のいい創造の場づくりを行っています。

さらに、産学公民の連携を深め、より広く市民等に利用してもらうことを目的として、JR南草津駅前で人通りの多い、商業施設にUDCBKを移転します。

【工事概要】

商業施設1階テナント部の改修

(オープンスペース、ギャラリーコーナー、オフィススペース、多目的トイレ、風防室、屋外看板等)

【主な取組】

- ・アーバンデザインセンターびわこ・くさつ事業運営懇話会の開催
- ・アーバンデザインスクールの開催
- ・未来創造セミナーの開催 等

※健幸都市基本計画関連事業

＜事業の目的・効果＞

UDCBKは、市民が様々な草津の未来をイメージする場所であり、自由で気軽に草津の未来について語り合っていたいただき、この中から出たアイデアを実現するために、大学が持つ「知」、企業が持つ「技術」などを積極的に活用してもらう場所です。また、大学のサテライト的な機能として、交流や学習の場を提供したり、教員が研究フィールドとして活用することにより、その研究成果が地元積極的に応用・還元されることが期待されています。

Urban Design Center Biwako Kusatsu
アーバンデザインセンターびわこ・くさつ



子どもの遊び場

主な経費

| | |
|----------|--------|
| 開店時経費・賃料 | 8,911 |
| 施設改修工事 | 32,288 |
| 備品購入費 | 2,422 |
| スクール等開催費 | 1,417 |
| 社会実験委託費 | 1,000 |